３．環境経営方針

【環境経営理念】

地球規模での環境の変化や企業の社会的責任が強く問われるようになった昨今、私たちの会社は発生した廃タイヤを素早く回収して、チップ化処理することで工場等の燃料として再資源化することを主な仕事としており、廃棄物の適正処理を通じて循環型社会づくりに貢献します。

また、事業活動を行うに当たっては、地域の皆様に信頼される企業になることを使命と考え、環境保全を経営の大きな柱として位置付け、環境経営の継続的改善に努めて参ります。

【環境行動方針】

環境経営システムを構築・運用し、適時見直しながら、以下を重点項目として取り組みます。

１.事業活動における省エネルギー、省資源、リサイクルの推進、グリーン調達に積極的に取り組み、環境負荷の低減に努めます

２.再生可能エネルギーの利用、収集運搬車はエコドライブに努めて二酸化炭素排出量を削減します。

３.会社及び周辺地域の美化活動を積極的に推進し、より良い地域環境の実現に貢献します。

４.環境経営方針を全社員が理解し、環境保全を意識した活動が出来るよう教育訓練を行います。

５.法令を遵守します。

６.環境経営レポートを作成して、私たちの活動の結果を社外にも公表します。

2008年3月21日 制定
2020年10月1日 改訂

株式会社　タイヤチップセンター

代表取締役　白井文平

4.環境経営目標

- 当社の事業活動で発生する環境負荷等の実態を踏まえて、2022年度(38期）の環境経営目標は以下の4項目6目標を設定しました。
- 今年度は破砕機1基を増設予定ですが、電気使用量については常時ウェブでチェックできる機器を導入して稼働をコントロールし、廃タイヤ回収量の増加分以上に増えない目標としました。
- なお、「受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮」については、環境経営方針の基本理念である 「受託廃棄物の適正処理を通じた循環型社会の実現」の考え方に基づき、「廃タイヤ回収量の増加」を環境経営目標に掲げ、目標達成に向けて取り組みました。

環境経営目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
		37期 実績値 （2021年度）	38期 (2022年度）	39期 (2023年度）	40期 (2024年度）
		2020/10～ 2021/9	2021/10～ 2022/9	2022/10～ 2023/9	2023/10～ 2024/9
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO_2	401,968	314,921	314,921	314,921
(1) 電気使用量の削減 (破砕機1基増設分をコントロール)	kWh	236,656	252,000	252,000	252,000
(2) 軽油使用量の削減 (基準年実績より3%削減)	ℓ	123,909	120,000	120,000	120,000
2.一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減 (基準年実績より4%削減)	kg	2,500	2,400	2,400	2,400
3.総排水量の削減 (漏水分を除いた水使用量を維持)	㎥	918	600	600	600
4.廃タイヤ回収量の増加 (基準年実績値を維持)	t	10,446	10,500	10,500	10,500

備考）・電力の二酸化炭素排出は、新電力会社との契約により二酸化炭素排出係数は0となった。
・可燃物の排出量は、指定ごみ袋（燃えるごみ袋）1個を10kgとして計算した。
・化学物質は使用していないので、目標から除外した。

5.環境経営計画

- 環境経営目標を達成するため、以下の具体的な活動項目を決めて全社員で取り組みました。
- 取組に当たっては、活動項目の担当者を決め、取組目標の責任者（EA21チーム構成メンバー）を配置し、担当者から報告を受けた責任者が毎月の実施状況を所定の書式に記録して確認し、これを環境管理責任者が四半期毎に評価するチェックシステムを構築して、目標達成に努めました。

1．二酸化炭素排出量の削減（314，921kg-CO_2以下で操業）

取組目標		責任者	活動項目		担当者
(1)	電気使用量の削減	下馬場	1	エアコンの設定温度を決め、実行する	下馬場
			2	使用しない電灯・電源は消す	
		岡崎	3	デマンド警報 130kW以内での操業	岡崎
			4	作業の効率化（朝礼時に作業工程確認）	
(2)	軽油使用量の削減	水上	1	エコドライブ（アイドリングストップ）の徹底	角
			2	定期点検整備の実施	
			3	タイヤの空気圧を定期的に確認	
			4	収集経路の効率化（ミーティング時に確認）	

2．一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減（基準年37期実績を維持）

取組目標		責任者	活動項目		担当者
(1)	一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減	田中	1	リサイクル可能な紙やペットボトルの分別を徹底し、指定ごみ袋の発生量をチェック	田中

3．総排水量の削減（漏水分を除いた水使用量を維持）

取組目標		責任者	活動項目		担当者
(1)	総排水量の削減	岡本	1	洗濯機の利用を管理	岡本
		岡本	2	散水・ミストの管理	岡崎

4．廃タイヤ回収量の増加（基準年実績値を維持）

取組目標		責任者	活動項目		担当者
(1)	廃タイヤ回収量の増加	下馬場	1	回収本数・走行キロ・通行料の集計（効率アップ）	下馬場
		渕上	2	中間処理施設のメンテナンスの徹底・強化（タイヤチップの品質向上・安定）	平野

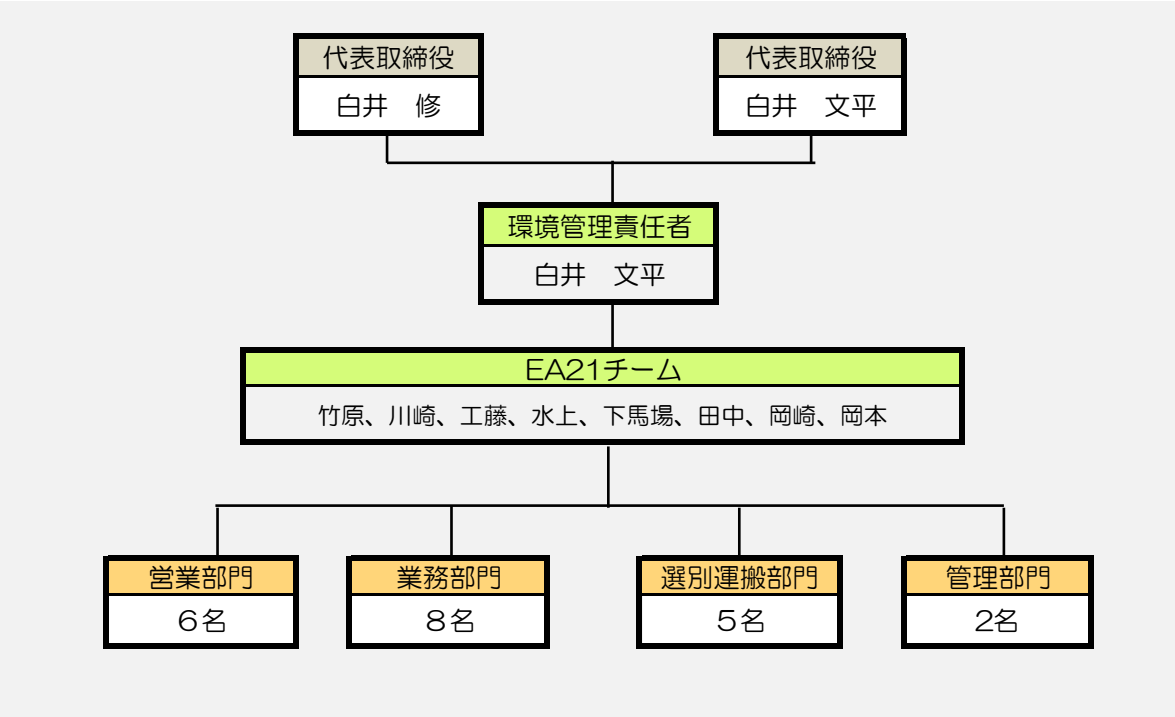
【当社の取組状況のチェック体制】

1.活動項目担当者は、毎月5日までに前月の実施状況を取組目標責任者に報告する。
2.取組目標責任者は、実施状況の報告内容と目標に対する実績値を、「環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果」に記録する。
3.環境管理責任者は、３ヶ月毎にこれらの確認結果について評価するとともに、問題があると判断されたら、当該取組目標責任者に是正処置の実施を指示する。
4.指示された取組目標責任者は、是正処置を実施する。

６．環境経営計画に基づき実施した取組内容

・2022年度(38期）に当社が実施した環境への取組は、以下のとおりです。
・なお、実施に当たっては、社内に次のような実施体制を構築して、全社員が一丸となって取り組みました。

（１）エコアクション21実施体制

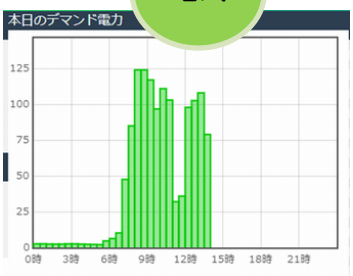


EA21チームの会議風景

（2）2022年度(38期）運用期間に実施した環境への取組

二酸化炭素排出量の削減取組

電気



デマンド管理

軽油

収集運搬車両の出発前点検

車両管理の実施

- デマンドを監視する機器を更新し、電気の使用状況がウェブでリアルタイムに確認できるようにした。
- 破砕機・切断機の同時稼働を制御して電気使用量をコントロールする取組をスタートした。
- 軽油使用量削減の取り組みとして、出発前点検を毎日行っている。
- 運転月報を記録する事で、車両管理が簡素化された。

一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減取組

紙

古紙のリサイクル

缶、ペットボトル

資源ごみ分別

ゴミ捨て

ゴミ袋の管理

- 古紙は種類別に分別し、再生業者に持ち込んでいる。
- ペットボトル、瓶、カンに分別しリサイクルしている。
- ゴミ袋の在庫管理。